

1 月 2 日 : 2020 年最初の取引日は上昇して終える

ベトナム株は後場に反発し 2020 年の最初の取引日を上昇して終えた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.59% 上昇し 966.67 ポイントで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.46% 高の 102.99 ポイントで取引を終えた。

午後の取引で銀行株を中心として買いが広がった。

11 銘柄がの銀行が上昇、8 銘柄は 1% 以上の上昇だった。サイゴンハノイ銀行 (SHB)、ベティンバンク (CTG)、VP バンク (VPB) などは 2.8-3% ほど上昇した。

その他の大型株も上昇し相場を支えた。ビンコムリテール (VRE)、ビナミルク (VNM)、ペトロベトナムガス (GAS)、バオベトホールディングス (BVH)、ベトジェット航空 (VJC)、マッサングループ (MSN)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ホアファットグループ (HPG)、フーニユアンジュエリー (PNJ) などは 0.5% から 2.6% ほど上昇した。

その他の銘柄は下落して相場の重荷になった。サイゴンビール (SAB)、ノバランド不動産 (NVL)、ジェマデプト (GMD)、FLC ファロス建設 (ROS) は下落した。特に ROS はストップ安であった。

ROS は 5 営業日連続のストップ安となった。

流動性は前日に比べると改善したが、低水準であり外国人は売り越した。

両取引所合計で 2 億 2500 万株が取引され、売買代金にして 5.2 兆ドンであった。

外国人投資家は両取引所合計で 310 億ドンの売り越しだった。

一般的に GDP、FDI、インフレ率、などの安定した経済指標が良好なため、今年のマーケットは上昇すると期待しているとバオベト証券のアナリストは語った。

VN 指数は 7.7% 上昇し HNX 指数は昨年とほぼ変わらずの水準で取引を終えた。

バオベト証券の Tran Xuan Bach 氏は、968-972 ポイントの抵抗線に近づくと売り圧力が高まるだろうとのことだった。しかし、年初は外国からの資金の流入が期待できるためそれがサポートになるだろうと予想した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。